



霧ヶ峰スノートレッキング
車山・蝶々深山・鷲ヶ峰

実施日 2019年2月2日(土)～3日(日)
天候 快晴
リーダー 伊藤 久雄
参加者 白石恵美子、山崎富美恵、石附智江、中村友子、伊藤久雄、宇野輝代、石原勝正、徳山敬子 計8名

費用 JR11,020円、4,200円、リフト代800円、宿泊8,900円、暖房費300円、温泉600円

合計25,820円

タイム 2/2 茅野駅(9:20~10:10) 車山スカイプラザ(10:10~11:00)車山(12:00) 車山乗越(12:40)ヒュッテジャベル(13:50)

2/3 ヒュッテジャベル(8:50)八島ビジターセンター(10:10~25)鷲ヶ峰(11:30)八島湿原(12:20~12:50)ヒュッテジャベル(14:10)塩壺温泉(15:00)茅野駅(16:40)

2/2 東京も霧ヶ峰も連日好天続きで雪が少なくスノーシューが出来るか心配でした。茅野駅からタクシー2台で車山ビジターセンターまで行き其処でリフト券購入スノーシューのレンタルを済ませスカイプラザで早めの昼食を取りスカイライナー、スカイ



パノラマとリフトを乗り継ぎ20分程で展望台に着く。風が強いが

取り合えず車山の頂上を目指す。15分程で丸い気象レーダードームにたどり着くが風が強く刺すような冷たさである。集合写真を撮りこれから行く予定のコースを頂上から下見しリフトまで戻りスノーシューに履き替え先ずは車山乗越に向かって下っていく。



かなりの傾斜が有り怖い。慎重に降りていく脇をスノーボードがスイスイと下

っていく。

車山乗越を少し行ったところで雪の状態や地形を見て予定を変更して車山湿原の方へ行くことにした。

幸運にも昨日雪が降り新雪だ。湿原は低地で風もなく柔らかい日の光を浴びなが



ら雪の湿原をのんびりと歩く。



遠くに丸いレーダードームや車山肩のペンションが見える。暫く歩くと笹に覆わ

れた林になり遠方に雪に覆われた南アルプスが見え始める。

コースを変更したため予定より早くペンシヨ



ンに着いてしまったので近くでお茶を飲みながら時間を過ごしてからペンションで受付を済ませひと風呂浴び食事をしこたつに入り談笑をした後床に付く。

2 / 3 7時30分の朝食を済ませた後雪の状態が分からないのでスノーシューかアイゼンかは各自の判断に任せ鷲ヶ峰に向かって出発する。今日も上天気だ。



宿から少し下った所に八島ヶ原湿原へ向かう遊歩道が有りまぶしい朝日を浴び

ながらのんびり行くと八島ヶ原湿原やこれから登る鷲ヶ峰が見えてきた。

湿原の遊歩道は二本の木道になっているが雪に埋もれていて分かりにくく踏み外すとズボット潜り悲鳴が上がる。

1時間半程歩くと八島ビジターセンターの駐車場に着く。雪も少



なめでザレ場も有るので全員アイゼンに履き替え鷲ヶ峰に登り始める。

初めは木も有るが高度が上がるにつれ少なくなり稜線に出ると風も強くなり寒い。北西方向に徐々に向きを変えなが3つつ程ピークを越えたとようやく鷲ヶ峰の山頂に辿り着く。

360度の大展望だ。澄み渡った

青空に浅間、蓼科、美ヶ原の王ヶ頭、山の頂上が平らで特徴のある荒船山、八ヶ岳、北アルプスの穂高、常念、悪沢、中央は木曾駒、空木、南は甲斐駒、仙丈、北岳等お馴染みの山々の素晴らしい眺望だ。



もちろん富士山も見える。眼下には薄く氷が張った諏訪湖も見られる。しばし記念写真を撮った後下山をする。



お天気で気温も高かったので下山時には所々で雪が解け水が流れ落ちていた。

八島ヶ原まで戻り昼食を取った後宿に戻り預けておいた荷物を整理しタクシーで温泉「塩壺の湯」に寄り身も心も癒され帰路に着いた。



二日間メンバーと雪山を楽しく過ごす事が出来ました。

有難うございました。

(記&写真・伊藤 久雄)

(写真提供・石原 勝正)